

平成 21 年度

白保魚湧く海保全協議会活動報告

<特記事項>

◆保全活動

グリーンベルト植栽：8 圃場

(石垣永全、多宇辰雄、多宇久美子、やちむんかん×2、新城栄保、桴海浩克、前内原用吉)

海浜清掃：4 回、ギーラ放流：7,000 個

◆自主ルールづくり

白保海域等利用に関する研究者のルール策定

石西礁湖自然再生協議会生活・利用部会で白保のルールづくりが注目される

ギーラ放流区域の禁漁区化を検討

◆エコツアーリズム

シュノーケル受入 3 回 (サンゴ礁学、WWF 鹿島交流、WWF 会員ツアー)

◆海垣活用

第 2 回日本石干見サミット参加

白保中学校体験漁、宮古島視察研修、サニズ体験漁

<具体的な内容>

1. 水産資源増殖、管理に関する協議 4 月 23 日

ギーラ放流にむけて、水産資源の管理について沖縄県漁業調整規則に基づく禁漁期や禁漁サイズの徹底を学習する機会を設けた。



2. 第 2 回日本すけ漁 (石干見) サミット in 富江参加 5 月 24 日

長崎県五島市富江町で開催されたサミットに出席した (桴海理事)。また、国際サミットを石垣島白保で開催する方向性を確認した。



白保魚湧く海保全協議会

3. 白保魚湧く海保全協議会ギーラ（シャコガイ）の放流実施 5月8日～13日

白保中学校生徒による竿原の垣への360個の放流、協議会による竿原沖合への4,640個のギーラ稚貝の放流を行った。



4. 白保地区農と緑の風景づくり事業スタート 6月12日

2007年より白保魚湧く海保全協議会事業としてスタートした農地からの赤土流出を止めるための「グリーンベルト大作戦」を拡大し、公民館、白保村ゆらていく憲章推進委員会、白保小学校、白保中学校と協働で実施する農と緑の風景づくり事業として取り組みを開始した。



赤土流出防止対策のための月桃植えを白保中学校生徒会と連携して1,300本植樹した。加えて、コミュニティによる営農対策（赤土流出防止の月桃等の植樹）のシステム作りのために白保魚湧く海保全協議会での議論を開始した。



5. 海浜清掃の実施 9月19日、12月20日、2月27日、3月22日

地域コミュニティによる保全活動の一環として海浜清掃活動を実施した。新聞折込等で集落内への呼び掛けを行うことで、子どもから高齢者まで50名以上のボランティア参加を得て清掃活動を行った。なお、参加者には、月桃の葉で包んだお握りを配布し、赤土流出対策の月桃植栽の促進の呼び掛けを行った。



3月石垣島の全域に廃油ボールが漂着した。白保海岸にも漂着したため、回収を行った。廃油ボールは、タンカーなどが海上で船倉を洗うことで流出する油類で、海上を漂着中にコールタル状になり、海岸に打ち上げられる。回収が困難であり、生態系への影響が大きいことから海外からの漂着ゴミに加え、大きな問題となっている。



6. 海垣調査（宮古）

宮古の伊良部島佐和田浜の垣及び宮古島狩俣の垣（昨年復元）に山城会長、新里理事、前内原理事、上村事務局長の4名で訪問した。来年のサミット参加の確約を得た。



7. 轟川流域赤土流出防止対策現場視察

グリーンベルト大作戦への協力農家の拡大を図ることを目的として、沖縄県八重山農林水産振興センターの案内で、白保サンゴ礁への赤土流出源となっている轟川流域の農地の対策状況や要対策現場の視察を行った。



8. 海垣の修復・サニズの体験漁

本年のサニズ（旧暦3月3日）の漁を前に、昨年の台風等で崩れた海垣の修復を行った。サニズの漁には、白保中学校2年生が参加し、東の海の恵みを楽しんだ。



9. ギーラの放流

2009年5月に引き続き、2010年度もギーラの放流による資源増殖に着手した。今年、ヒメジャコ900個、シラナミ1,100個の放流の他、ヒレジャコ、ヒレナシジャコ各3個体の観光ポイントへの設置を行った。竿原の海垣から沖合にかけての海域及びアオサンゴ群落周辺のシャコガイは、禁漁区とする方向で検討を進めることとなった。



10. 白保海域等利用に関する研究者のルール策定

2009年のサンゴ礁学の受入に際して、海域利用のルールの一環とし「白保海域等利用に関する研究者のルール」を提案し、協議を行った。その後の調整により、12月時点で、研究者のルールが策定された。

11. しらほサンゴ村開設10周年記念事業への協力

2000年4月オープンの上りほサンゴ村が開設10周年を記念し、4月17日に海浜への記念植樹や記念式典、祝賀会、記念コンサート等が行われた。同協議会も記念事業に協力し、10周年の節目をともに祝った。



白保魚湧く海保全協議会

<主要な活動日程>

<4月>

- 4月23日 白保魚湧く海保全協議会理事会・ギーラ放流説明会
- 4月24日 沖縄県八重山海洋水産研究センター・研修視察（ギーラ放流）
- 4月25日 ギーラ放流場所確認調査

<5月>

- 5月7日 白保中学校ギーラ放流に関する講義
- 5月8日 白保中学校ギーラ放流（白保竿原の垣） 360個
- 5月9日 白保魚湧く海保全協議会ギーラ放流（フタナガ）
- 5月12日 白保魚湧く海保全協議会ギーラ放流（フタナガ）
- 5月13日 白保魚湧く海保全協議会ギーラ放流（フタナガ）
- 5月24日 第二回日本すけ漁（石干見）サミット in 富江出席

<6月>

- 6月9日 ギーラの網はずし
白保魚湧く海保全協議会理事会
- 6月12日 農と緑の風景づくり・糸芭蕉植栽
- 6月14日 ギーラの網はずし
白保魚湧く海保全協議会総会
- 6月20日 農と緑の風景づくり・月桃植え
- 6月23日 ギーラの網はずし
- 6月25日 白保中学校シュノーケル練習・プール
- 6月26日 ギーラ放流箇所の清掃

<7月>

- 7月6日 ギーラ放流作業・白保中学校海垣体験漁 網入れ
- 7月7日 白保中学校海垣体験漁
- 7月16日 白保中学校シュノーケル観察会
- 7月22日 農とみどりの風景づくり 月桃植え

<8月>

- 8月16日 白保魚湧く海保全協議会理事会
ギーラ放流箇所を中心とする禁漁区設置について検討
- 8月23日 サンゴ礁学サマースクールとの交流会
- 8月25日 サンゴ礁学ワークショップ

<9月>

- 9月6日 科学技術振興事業団 J S T 地域環境研究会交流会
- 9月7日～8日 J S T 地域環境研究会
白保魚湧く海保全協議会理事会
- 9月17日 白保魚湧く海保全協議会理事会
- 9月19日 海浜清掃

<10月>

- 10月9日 里海研究会（海垣について発表）
- 10月10日～13日 佐賀県鹿島市の小中学生と白保の子どもたちの交流受入

白保魚湧く海保全協議会

<11月>

- 11月6日 月桃植え（カウアイ島中学生）
11月7日 白保魚湧く海保全協議会理事会
11月25日 海垣調査（沖縄本島） 泡瀬に1基有り

<12月>

- 12月2日～3日 海垣調査（宮古島） 佐和田浜、狩俣訪問（山城会長、新里理事、前内原理事、上村事務局長）
12月5日 サンゴセミナー
12月11日 白保海域等利用に関する研究者のルールの制定
12月17日～21日 福岡大学杉原薫氏海域調査実施
12月20日 海浜清掃／忘年会
12月26日～27日 法政大学佐藤清氏白保方言の聞き取り調査

<1月>

- 1月12日～17日 「国連国際生物多様性年」キックオフ・イベント
「第10回生物多様性条約締約国会議（COP10）」プレ・イベント
合同写真展「生物多様性ってなーに？」主催：沖縄BD市民ネット
那覇市民ギャラリーに出展

<2月>

- 2月4日～10月30日 琉球大学広瀬裕一氏他4名白保礁池での海綿の調査
2月8日 白保魚湧く海保全協議会理事会・協議会だより9号発行
2月15日 白保学講座 轟川流域赤土流出防止対策現場視察、新石垣空港建設現場視察
2月27日 海浜清掃、海垣修復

<3月>

- 3月2日～19日 長野大学清水万由子氏白保のサンゴ礁の利用と地域づくりに関する聞き取り調査
3月9日～20日 東京大学山本将史氏他1名白保サンゴ礁での海水採取調査
3月16日 石西礁湖自然再生協議会生活利用部会 事例報告「白保におけるローカルルール」
3月17日 沖縄県水産海洋研究センター石垣支所訪問 ギーラ放流について協議
3月21日～30日 御茶の水大学深山直子氏白保集落でのサンゴの建材利用についての聞き取り調査
3月22日 廃油ボール回収（海浜清掃）
3月30日、31日 白保竿原の垣修復

<4月>

- 4月11日 2009年放流のギーラ生存状況確認調査
4月16日 サニズの体験漁
4月17日 しらほサンゴ村開設10周年記念式典・祝賀会
4月24日 ヒレジャコ、ヒレナシジャコ大型個体放流
4月29日 ギーラ（ヒメジャコ）稚貝